

アンケートの回収について皆さんに御礼申し上げます。
現在までに集計を確認できたアンケートは153通にのぼります。
ご多忙の折、皆さんに貴重なご意見を聞く機会をいただけたことを改めて感謝申し上げます。
次回以降の「ふくみみ」でこのアンケートの集計結果についての分析を交えた報告をしたいと思います。
ご期待ください。

フィギュアスケート体験会「Skate Today」に参加して

SO日本のスポンサーのお知り合いで、アメリカンスクールに通っている学生の吉井栄美子さん主催にて障害のある人たち対象のフィギュアスケート体験会が4月25日に開催されました。昨年に引き続き、参加をしましたのでそのご報告と感想です。

当日は早朝の完全貸し切りのなか、スペシャルオリンピックス日本・東京のスピードスケート、フィギュアスケートのアスリートも随分参加されていたようです。お馴染みの顔をずいぶんとお見かけしました。吉井さんとそのスクールのお仲間達による手作りの体験会ですが、皆さんは本当に卓説した技術をもったスケーターで華麗なフィギュアスケートの模範演技も楽しませてもらいました。当日は初めてスケートを履く子供さんも多く、会場内で泣いている子にも優しく指導していました。

ボランティア不足が課題のスペシャルオリンピックスには大変ありがたいサポートです。願わくはこんな動きが日本の学生さんからも是非でてきてほしいと思います。自分が学生の時にはただ自分の楽しみを追いかけてただけで、大きな顔ができないのですが、現在のスペシャルオリンピックス日本・東京のボランティア不足の背景には若い力の不足があげられるかと思えます。(アンケートにも同趣旨のご意見は多く頂いております。)

我々ファミリーもただ一方的に「人手が足りないから助けてほしい」という主張だけではなく、ボランティアとは学生の方が「人の役にたつこと」を実感できる貴重な機会であることを訴求する工夫が必要かと思いました。

この日、吉井さん達が眩しく見えたのは華麗なスケート以上に、「人の役にたつこと」を当たり前に行っていることにあるのかもしれない。

特別講演会「障害者の就労・社会参加について」の開催について

毎年恒例になりました年に一度のファミリー委員会主催の講演会ですが、今年はスペシャルオリンピックス日本・東京の秦理事をお招きして、我々ファミリーにとって非常に身近な課題でもある「障害者の就労」を主題に皆さんと活発な討議をできればと考えております。

日時：7月11日(土)18:00～ 1時間から1時間半で講演+質疑応答

場所：東京YMCA東陽町センター視聴覚室(事務局があるビル)

演題：障害者の就労・社会参加について(仮)

参加者：SON東京に参加するアスリートのファミリーを主たる対象とし、その他参加希望者

講師略歴： 秦 政(はたまこと) NPO法人障がい者就業・雇用支援センター理事長
慶應義塾大学商学部卒。大学卒業後、日鉄商事株式会社を経て、株式会社リクルートに入社。営業経理部長、障害者雇用特例子会社設立準備室長を経て、1990年特例子会社株式会社リクルートプラス専務取締役に就任。独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構障害者雇用アドバイザーを経て、2004年よりARM顧問として、就業不能者の職務復帰サポートプログラム、転職サポート事業を担当。日本経済団体連合会(日本経団連)障害者雇用アドバイザー、厚生労働省「難病の雇用管理のための調査研究会」調査・研究委員などを兼務。著書に「ケースで学ぶ障がい者雇用促進講座」「特例子会社設立による障害者雇用推進の功罪」「採用試験の話」などがある。

皆さん、これを機会にアスリートの就労、社会参加について是非考えてみませんか。
もちろん参加は無料ですので、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

FUKUMIMIは月次開催のファミリー委員会で取り上げられた議題の報告、委員会にてでた意見、委員からでてきた提案等をわかりやすく読める「かわらばん」です。
ご意見やニュースを募集しております。ぜひ投稿をお願いします。

前原 聡

【編集後記】
今回はお知らせです。
今回は、またアスリートの作品を掲載できればと思います。
よろしくをお願いします。